事剂	务事業語	平価シ	<u>ート1</u> -	<del>-</del> 1		は、プルダ	ウンメ	ニューから	選択			事系	务事簿	₹No.		05	-	7	
事	業分	類	☑ソ	フト	]ハード		需	公 的	関	与	8	作月	<b></b>	28	年	5	月	9	日
事	務事	業名	国際交	流事務								シ	_	۲	作	Į,	戊 i	部	署
総合	基本	佐竺	6 語	らいのある	るまち							課名	Ħ	]民課	Ę.	係名	町民	活動	係
合計	本 平	旭 束	6-2	しと人がる	を流する	まちを~	つくる	)					卜作	成者	•				
画上	tá:	)-d-	6-2-2	交流活動	動の推進	Ĺ							会	計		-	一般		
の位	施	策										予算	崇	欠			2		
置		44- A4-	① 交	流推進体	制の確	<u> </u>						費	Ŋ	Į			1		
付け	主要	肔 策											E	1			6		
偱	固別計画	画名																	
住	民と	: の	関れ	り り 特(	こなし														
	対象	(誰を	、何を)				目由	り(どう	いう	状態	にし	たいの	か)						
事業	小学生	Ē						国人と							リ、戊	ない	視野	で物	事
の							&₹ 	きえるこ	<b>∠</b> か	じざ	の感見	見を饿り	以96	ຈຸ					
対象																			
Ŀ				うな方法					. دوج		o + ·	· 4 · ·	· · ·	L>	=40		··		
18		_ T (?		旨導助手) と図る		ました取り によりi													_
目的	116746		除父流る	_ മരം പ			ロノドビ	リーほん	نا د ن			アンくり	ノを区	コるし		🗀	当75不了。	エ云い	
的		の国		がられる。		L1-01 ) L	旧八叶兰	11~ 天  心 1	ڪار ڪ	` _	J 75 1	7766	を区	<b>1</b> 0∟	(	. =	当1 <b>7</b> 5.71	三会し	
		の国					旧ノド座	11〜 天 /山、	216	` `	<i>31</i> 3 1 .	7776	) を <u>以</u>	16 C	(	· • E	当1 <b>7</b> .7.1	I安1.	
的・内容	少して	ごの国[ ごも視!	野を広げ	げられる。															Ξ
的·内容 事	少して <b>業</b>	ざの国( でも視! <b>其</b>	野を広げ	ずられる。 <b>『</b> 昭和 □	平成 🗸	14 年			呼成		年度		年間				設定		Ξ
的·内容 事	少して <b>業</b>	ざの国( でも視! <b>其</b>	野を広げ	げられる。	平成 🗸	14 年													Ξ
的 内容 事 根	少して 業 拠 法 <sup>4</sup>	ざの国 でも視! ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	野を広!	ずられる。 「昭和 」 三重県 平原	平成 🗸	14 年	度	~ 5	平成_			( <b>[</b> ]	年間		<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし <b>[</b> )	
的 内容 事 根	少して 業 拠 法 *	でも視り	野を広い <b>男 間</b> 要 網 等 引) A+B	ずられる。 「昭和 」 三重県 平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198	~ 5	平成_		年度	( <b>)</b> 264	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし (E) (26)	4
的 内容 事 根 全	少業法・	ごの国I でも視! ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	野を広! 明 間 要 網 等 出 会	ずられる。 「昭和 」 三重県「平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198 0	~ 5	平成_		年度	( T) 264 0	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし 「「) 26	4 0
的 内容 事 根 全 財	少業法費庫	でも視り	野を広い 別	ずられる。 昭和 □ 三重県 □ 平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198 0 0	~ 5	平成_		年度	( 264 0	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし (I) 26	4 0 0
的 内容 事 根 全 財源内	少業法費庫地	でも視ります。	野を広い 用 間 製 割 ) A + 日 出 会 日	ずられる。 「昭和 」 三重県 平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198 0 0	~ 5	平成_		年度	( 264 0 0	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし (L) (26)	4 0 0
的 内容 事 根 全 財源	少業法業は	でもでする は、	野を広い 別 解	が 昭和 □ 三重県 □ 平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198 0 0 0	~ 5	平成_		年度	264 0 0 0	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし <b>(F)</b> 26	4 0 0 0
的 内容 事 根 全 財源内訳	少業法業県地そー	ずでも、「「支をを持ち、」では、「大き」を対しています。	野を広い 間 要 1) A + 日 会 会 値 派 派	が 昭和 □ 三重県 □ 平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198 0 0	~ 5	平成_		年度	( 264 0 0	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし <u> なし</u> 26	4 0 0 0 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直	少業法業庫	でしています。「「「「「「」」」である。「「「」」では、「「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」	野を広い 間 要 3) 出 定財 ア A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を を を を を を を が A + 日 会 会 を を を を を を を を を を を を を を を を を	が 昭和 □ 三重県 □ 平原	平成 🗸	14 年 進指針	度 198 0 0 0	~ 5	平成_		年度	( 264 0 0 0	年間	<b>]</b> )	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし <u> なし</u> 26	4 0 0 0 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直人	少業法業県地そ一事費は一番の	でも、「支他般と行う」である。	野を広い 間 要 3) 出 定財 ア A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を 値 源 A + 日 会 会 を を を を を を を が A + 日 会 会 を を を を を を を を を を を を を を を を を	が 昭和 □ 三重県 □ 平原	平成 ✓ 国際化排 <b>戊26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0	~ 5	平成_		年度	264 0 0 0 0	年間	平成:	<b>▽</b> ‡	期間	設定	なし <b>I</b> ) 26	4 0 0 0 0 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	少業法業庫の安養を	でして、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない。」では、「ない、「ない。」では、「ない、「ない。」では、「ない。」では、「ない。」は、「ない。」では、「ない。」では、「ない、「ない。」では、「ない。」は、「ない。」では、「ない。」では、「ない。」は、「ない。」では、「ない。」では、「ない。」は、「ない。」は、これ、これ、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これい、これいいい。」は、これいいい、これいいいい。」は、これいいい。」は、これい、これい、これいい、これいいいい。」は、これいいい。」は、これいいい。」は、これいいい。」は、これいいい。」は、こ	野を広い 間 要 1) 出 定財円 B に 対 の A に 対 が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が の A に 対 が が か る に 対 が が か か は か は か は か は か は か は か は か は か	が 日 田和 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	平成 ✓ 国際化排 <b>戊26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0	~ 写	平成 <b>艾27</b> 全		年度	( 264 0 0 0 0 0	年間	平成:	28年	期間	設定	なし 1) 26 26 26	4 0 0 0 0 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	少業法業庫の安養を	でして、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	野 要 1) 出 定財円 B 千千円 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	f S A S A S A S A S A S A S A S A S A S	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 5 平月	P成 <b>戊27</b> 年 人		年度	( 264 0 0 0 0 0 0 264 264 0	年間	<b>平成</b> 2	<b>28年</b>	期間 <b>度</b>	設定 ( <b>予算</b>	なし 1) 26 26 26	4 0 0 0 0 0 0 0 64 64 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	少業法業庫の安養を	でして、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きな」では、「大きない」では、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、「ない、」は、「ない、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	野 要 1) 出 定財円 B 千千円 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	が 日 田和 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 写	<b>戊27</b> 4		年度 ( <b>決</b> 第	( 264 0 0 0 0 0 0 264 264 0	年間 0.	<b>平成</b> 。 04 	<b>28年</b> 人人	<b>度</b>	設定(予算	なし 1) 26 26 26	4 0 0 0 0 0 0 64 64 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳	少事国県地そ一事費般時では、「一番のでは、「一番のでは、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「」」では、「」では、「」では、	で	野 要 1) 出 定財円 B 千千円 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	f S R R R R R R R R R R R R R R R R R R	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 5 平月	<b>戊27</b> 4	<b>丰度</b>	年度 ( <b>決</b> 第	( 264 0 0 0 264 264 0 c 度	年間 0.	04	☑ ‡ <b>28年</b> 人 人 <b>4年度</b>	<b>度</b>	設定 ( <b>予算</b>	なし 1) 26 26 26	4 0 0 0 0 0 0 64 64 0
的 内容 事 根 4 財源内訳 直 人 内訳 成	<ul><li>少 業 法 業 庫</li><li>一 事 費 般 時</li><li>① ②</li></ul>	で	野 要 3) 出 定財円 B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f S R R R R R R R R R R R R R R R R R R	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 至 平月 0.04 単位	<b>戊27</b> 4	<b>丰度</b>	年度 ( <b>決</b> 第	( 264 0 0 0 0 0 0 264 264 0 0 tg	年間 0.	04	28年 人人 保 度 1 標)	<b>度</b>	設定 ( <b>予算</b>	なし 1) 26 26 26 年度	4 0 0 0 0 0 0 0 64 64
的 内容 事 根 4 財源内訳 直 人 内訳 成	少業法業県地そ一事費般時間の	で	野 要 3) 出 定財円 B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f S R R R R R R R R R R R R R R R R R R	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 至 平月 0.04 単位	<b>戊27</b> 4	<b>丰度</b>	年度 ( <b>決</b> 第	( 264 0 0 0 0 0 0 264 264 0 0 tg	年間 0.	04	28年 人人 保 度 1 標)	<b>度</b>	設定 ( <b>予算</b>	なし 1) 26 26 26 年度	4 0 0 0 0 0 0 64 64 0
的 内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳	少 ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ **	で	野 要 3) 出 定財円 B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f S R R R R R R R R R R R R R R R R R R	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 至 平月 0.04 単位	<b>戊27</b> 4	<b>丰度</b>	年度 ( <b>決</b> 第	( 264 0 0 0 0 0 0 264 264 0 0 tg	年間 0.	04	28年 人人 保 度 1 標)	<b>度</b>	設定 ( <b>予算</b>	なし 1) 26 26 26 年度	4 0 0 0 0 0 0 0 64 64
的 内容 事 根 4 財源内訳 直 人 内訳 成	<ul><li>少 業 法 業 庫</li><li>一 事 費 般 時</li><li>① ②</li></ul>	で	野 要 3) 出 定財円 B・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	f S R R R R R R R R R R R R R R R R R R	平成 <b>V</b> 国際化排 <b>龙26年度</b>	14 年 進指針	度 198 0 0 0 0 0 198 198	~ 至 平月 0.04 単位	<b>戊27</b> 4	<b>丰度</b>	年度 ( <b>決</b> 第	( 264 0 0 0 0 0 0 264 264 0 0 tg	年間 0.	04	28年 人人 保 度 1 標)	<b>度</b>	設定 ( <b>予算</b>	なし 1) 26 26 26 年度	4 0 0 0 0 0 0 64 64 0

事務	8事業評価シート1-2								事務事	集No.	05 – 7					
事業	<b>事業名</b> 国際交流事務												成課	町民課		
	<b>一</b> 岁	文評(	町民課長				=2	に評り	西者							
				•	チェック項目				一次二次			一次の評価又は説明				
	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下し 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみら 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市前と比較するとサービスの対象や水準を見直す 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。						ている。				国人と交流を図ることで国際的な感 触れることができる。					
評	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。											:共生に向けた意 :有効です。			
計価項目の説明	達成度	成									事業の	業の内容を考える必要がある。				
73		2. 現 3. 他 4. 他 5. 事 6.						本町で 流を図		いるALT	を活用し国際交					
		7. 天	利力从仍发史	4C1C4917	(下門)が07示項		<b>東                                    </b>	の宝施谚								
国籍や民族が異なる人々が対等な関係のもとで互いの文化の違いを認め合い、地域社会の心して快適に暮らすことができる多文化共生社会づくりに向け、地域や県・国と連携して											推進します。					
			<u>必要性</u> 4		有効性		達成度		効率性		<b>率性</b>		総合	評価		
	評	価			3						3	(7) (6)	<b>2</b> 4 7	A C		
次	今後	÷σ		休・廃止			<u>-</u> 見直し				継続	1(2)	(3)	拡大		
評	方						0									
価	今後の改革・		町民を対象とした新たな事業内容の検討の必要						があります。							
			必	要性	有効性 3		達成度		効率性		<b>率性</b>		総合	·評価		
二次	評	価	4	4							3	6	2 4 7 D (5)	A C		
評		後の	休・廃止				見直し		継		継続	続		拡大		
価		針メト	改善目標	票にもあ	ある様に、事業内容の検討が			が必要と	必要と考えます。							
	で評価である。															
参画	参画協働の 今後の方針		いつから 平成 年月			度から	Eから <mark>1 現在の手段を継続</mark>					続する				